

賀 正

新年明けましておめでとうございます。

皆様には良い年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年の森林教室へは、小学校等 6 校が新たに参加していただき、たくさんの学校が森林教室に参加してくださいました。

普段、学校の教室内では大きな声を出す機会がないのか、子どもたちは森林散策の途中で何度も何度も「ヤッホー」と大声を出し、たくさんの笑顔が咲いていました。また、森林とふれ合えば心も身体もリフレッシュでき、思い出深く残る素晴らしい体験を感じてもらえたと思います。

今年もセンター職員一同、ボランティア団体や多くの皆様のご協力を得ながら、安全で楽しく、学校等からのニーズに対応した中味の濃い森林教室を目指して、一層の内容の充実に努めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

平成30年 元旦

高尾森林ふれあい推進センター所長 屋代 忠幸

(高尾山頂からの富士山)



巻頭 Photo 高尾山の生きものたち

シモバシラ (シソ科)

シモバシラはシソ科の植物で、高さ40～70cm程度の多年草。花は9～10月頃咲く。名前の由来は、外気温が氷点下になると導管内の水が凍って茎から氷柱ができることから。極寒の山中で、地中から吸い上げられた水が枯れた茎から吹き出し、夜間の寒さで凍った形がまるで氷の花のように見える。(磯)



9/4 撮影



12/7 撮影

公募イベント 炭焼きと森林散策

本格的な寒波が襲来した12月9日に、公募イベント「炭焼きと森林散策」を実施しました。

参加者の皆さんは焚き火で身体を温めた後、開会式をはさみ、ドラム缶窯と伏せ焼き窯の2班に分かれて、炭材となる竹を詰める窯入れ作業を行いました。そして準備が整ったところでいよいよ口焚きです。ここで注意しなければならないポイントは、材料の竹を直接燃やすのではなく、口焚きの熱風を窯に送り込むことです。みなさんには口焚きと同時に団扇で扇いでもらいました。窯の中の温度が徐々に上がってくると煙突から濃い白煙が出始めました。しばらく経って温度計で煙の温度を測ってみると、80度前後で安定してきました。そして扇がなくても煙が勢いよく出始めたら、焚き口を小さくして通気口のみにします。窯の中では炭化が順調に進んでいる状態となりました。

午後からは森林散策を行いました。辺りはすっかり冬枯れの景色となっていますが、そこは天下の高尾山、植物の冬芽やアサギマダラの幼虫の観察など、見所は意外とたくさんありました。森林散策から帰ってくると、冷え切った身体にうれしい焼き芋のサプライズです。



冬の森も見所たっぷり、説明に聞き入る

焼き芋に舌鼓を打った後は再び炭焼き体験です。今回のイベントは1日限りなので、窯入れから窯出しまでは連続して体験が出来ません。そこで職員が事前に焼いて置いた窯からの窯出しを体験しました。窯から出された竹炭を前に「自分で焼いた炭が見てみたい」という意見も多かったのですが「すごい！こんなに立派な竹炭ができるの?」といった感想も頂きました。



焚き口を全力で扇ぎます(ドラム缶窯)



竹炭を集める参加者たち



伏せ焼き窯も体力勝負！腕が疲れます…

日も傾き始めた頃、再び炭窯のチェックです。それぞれの窯の煙が透明で青みがかった色に変化してきました。そろそろ窯閉めの時間です。無事に窯閉めをすませた後は閉会式となりました。寒さにもめげずに1日を過ごした参加者の皆さんは、身体を燻された臭いと竹炭をお土産に、満足そうな笑顔と共に無事に帰路につきました。

地球環境について考えることが当たり前となった現代社会ですが、このイベントを通して古くより受け継がれてきた伝統の炭焼きの技術を継承していくことの大切さを考えて頂けたのではないのでしょうか。(磯)

花炭も
きれいに
焼きました





11月18日に、神奈川県大和市の北大和小学校へ出向き、「北小カルチャークラブ講座」に参加しました。当講座は、北大和小学校PTA主催によるもので、今回が17回目の開催です。

当日は、料理教室や忍者体験教室、マジック教室などバラエティーに富んだ17講座が設けられました。各講座への参加は事前申し込み制で、当センターが開催した森林教室「森のクラフト屋」は1年生から6年生までの児童38名が参加する人気ベスト4の講座となり、用意された2つの教室を使って松ぼっくりやドングリ、小枝等を使いそれぞれが思い思いの作品を作成していました。

できあがった作品はいずれも素晴らしい出来栄で、子どもたちの発想の豊かさ、器用さに感心させられた出前森林教室となりました。(谷)



教室は大盛況！講師の方たちに教えてもらいながら、みな楽しそうに作品を仕上げていました。

炭焼き準備の 竹割り教室

横浜市立 谷本小学校
八王子市立 城山小学校

12月18日に横浜市立谷本小学校の5年生74名、翌19日に八王子市立城山小学校の4年生97名が、森林教室（炭焼き体験）のための竹割り作業を各校の校庭で開催しました。

作業は森林教室で使用する竹材の準備で、小学校が事前に伐採・玉切し用意しておいた竹を、児童が割り、節を落とすものです。



狙い定めて・・・(谷本小)



よーいしょ！(城山小)

作業当日は、両日とも寒波のため10度を下回る気温の中で、所長の「ガンパロウ！」を合図に竹割りを開始。初めて使う竹割器におっかなびっくり振り下ろす子、竹割器の重さにやっとの思いで振り下ろす子、いとも簡単に割る子、なかなか割れずに悔し涙を流す子もいました。竹割りは大人でも顔を怪我することがあるため、細心の注意を払っての作業ですが、怪我することもなく無事に作業も終了しました。

「楽しかった。」「炭焼きが楽しみです。」との声が聞こえ、児童は森林教室での再会を楽しみに手を振って教室に帰って行きました。(皿)



リース作り体験 ☆







今年も11月27日から1週間、当センタークラフト室において「クリスマスリース作り体験」を開催しました。毎年大人気のこの企画、今年も大勢の方にご来場いただきました。

皆さん慣れた手つきで、アケビなどのツルを編み込み輪っかにしたリースの土台に、ドングリやドライにしたモミジの葉など、思い思いに飾り付けていました。個性色々、クリスマスを彩る雰囲気のある飾りが仕上がりました。(松)




国民の森林「国有林」では、地方公共団体や教育機関等の要請やニーズを踏まえ、森林・林業に対する理解が深められるよう、森林教室等のフィールド提供、指導者の紹介や情報提供等を行っています。

平成30年度の森林ふれあい推進事業のイベント実施に当たり、関東森林管理局長と協定を締結し、高尾森林ふれあい推進センターのイベントを実施していただく団体等を公募します。募集期間は、平成30年1月下旬頃から平成30年2月中旬頃の予定です。

具体的な実施内容

1 協定イベント実施団体の選定

営利を目的としない法人または団体（以下「団体」という）を公示により募集し、森林ふれあい推進事業の趣旨に沿って創意工夫により、イベントを計画実施できる団体

2 応募団体資格（以下の条件を全て満たす団体）

- (1) 従来から森林を利用した活動等を実施し、森林とのふれあいを促進させるプログラムを実施している団体
- (2) 森林・林業等について、適切に説明ができる者（森林インストラクター等）を有している団体
- (3) 国と連絡・調整を行うことができる団体
- (4) その他森林管理局長が定める条件に合致した団体

3 実施内容

- (1) 森林教室・森林観察会等の学習活動
- (2) 木工・炭焼等の体験活動

4 参加費の設定

参加費は、団体において、保険料・通行料・施設入場料、インストラクター等の直接人件費・旅費・保険料等及び資料・機材等の提供に要する経費について、消費税相当額により算出した実費として、実施団体において決定・徴収していただきます。

5 留意事項

国有林からは、フィールドの提供、森林ふれあい館、日影沢キャンプ場、自然学習体験施設（炭焼小屋）、展示室及び木工体験室等の施設を優先的に使用できるほか、必要により資機材の貸出や技術的支援等を受けることができます。



編集後記



新年明けましておめでとうございます。新しい年が皆様にとって輝かしいものとなりますように。今年もForest 通信をよろしくお願ひいたします。（松）

林野庁関東森林管理局高尾森林ふれあい推進センターでは、森林教室や体験林業等のイベント実施に当たり、イベントをサポートしていただける森林ボランティア「フォレストサポートスタッフ」を委嘱しています。

平成30年度は、①継続して活動いただける再委嘱者の確認と②新規に委嘱を受けて活動いただける新規委嘱者を募集いたします。募集期間は平成30年1月下旬から平成30年2月中旬頃の予定です。委嘱期間は原則として平成30年4月から平成31年3月までの1カ年です。



資格要件（以下のいずれかを満たすこと。）

指導力及び行動力に富み、本制度の趣旨を理解し、自主的に協力する意志がある者で、次のいずれかに該当する者のうちから、高尾森林ふれあい推進センターの活動区域内で活躍いただける者を選考し、委嘱します。

- ① 地方公共団体、森林組合、山岳関係団体、ボランティア団体、自然保護関係団体等の関係機関から推薦を受けた者（団体推薦）
- ② 学校教育法に規定する高等学校、大学（大学院、短期大学を含む。）、高等専門学校及び専修学校の学校長又は教授等から推薦を受けた者（学校推薦）
- ③ 高尾森林ふれあい推進センター所長がフォレストサポートスタッフとして資質を備えていると認められた者（自己推薦）

募集予告に関するお問い合わせ先

関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター
TEL 042-663-6689 FAX 042-663-7229

Forest 通信 NO.347

発行：林野庁関東森林管理局

高尾森林ふれあい推進センター

ご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問い合わせ先
林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター
〒193-0844 東京都八王子市高尾町 2438-1
TEL 050-3160-6040 FAX 042-663-7229
<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

